

市民アンケート調査結果（せきのまちづくり通信簿） 第 27 条

〔調査の目的〕

市民のみなさまの関市のまちづくりに対する意識等を把握し、政策への反映に生かすことを目的として実施するものです。

〔主な調査項目〕

- ・回答者の属性について
- ・関市への居住意向について
- ・市の主な施策の「満足度・重要度」について
- ・健康づくりについて
- ・幸福感について

〔調査対象者抽出方法〕

年齢、性別、地区を考慮し、住民基本台帳から対象者を無作為に抽出

〔調査方法〕

調査票による本人記入方式

郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

〔調査結果の活用〕

- ・アンケート結果は、行政評価の参考にさせていただき、総合計画実施計画（計画期間 3 年）において具体的な取組を検討します。
- ・前回の調査から満足度が下降した項目や市民のみなさまが重要だと感じている項目については、政策立案において工夫します。

〔調査対象者〕

関市に居住している 18 歳以上の市民 3,000 人

〔回収状況〕

回収状況			
実施時期	配布数	有効回収数	回収率 (%)
平成 27 年度（平成 28 年 1 月実施）	3,000	1,393	46.40
平成 26 年度（平成 27 年 1 月実施）	3,000	1,206	40.20
平成 25 年度（平成 26 年 1 月実施）	3,000	1,011	33.70
平成 24 年度（平成 25 年 1 月実施）	3,000	1,234	41.10
平成 23 年度（平成 23 年 8 月実施）	3,000	1,126	37.50

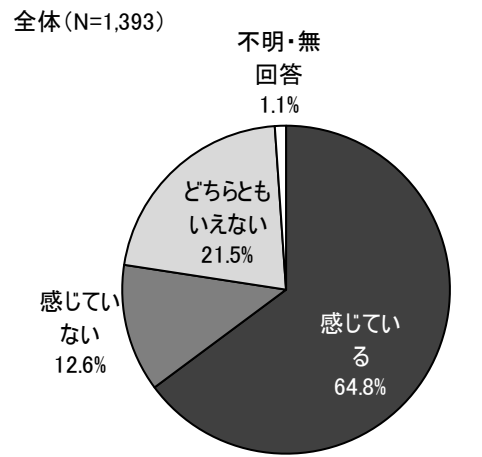
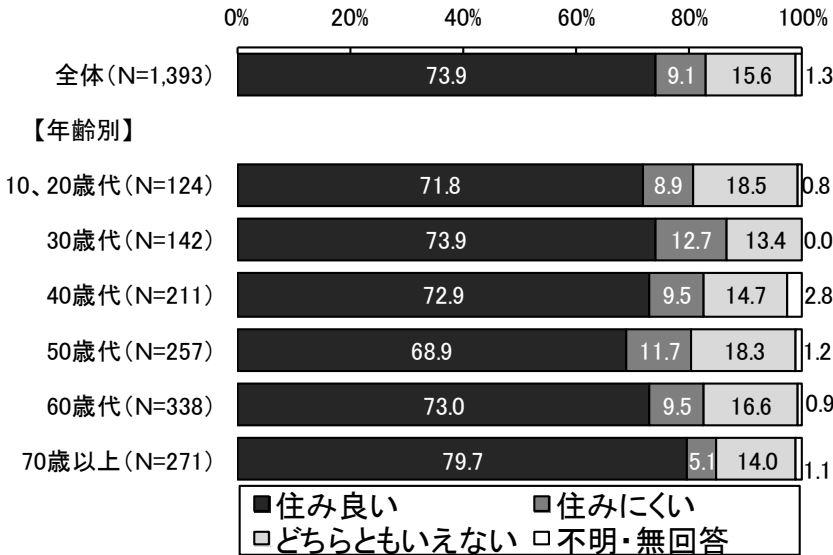
1 関市への居留意向について

回答者の73.9%が、関市を「住み良い」と感じています。年齢別でみると、いずれの年代でも『住み良い』が高くなっていますが、30歳代、50歳代ではやや『住みにくい』とする割合が高くなっています。

関市への誇りや愛着は、全体の64.8%が『感じている』と回答しています。

●あなたは関市が住みよいまちだと感じるか

●あなたは関市に誇りや愛着を感じるか



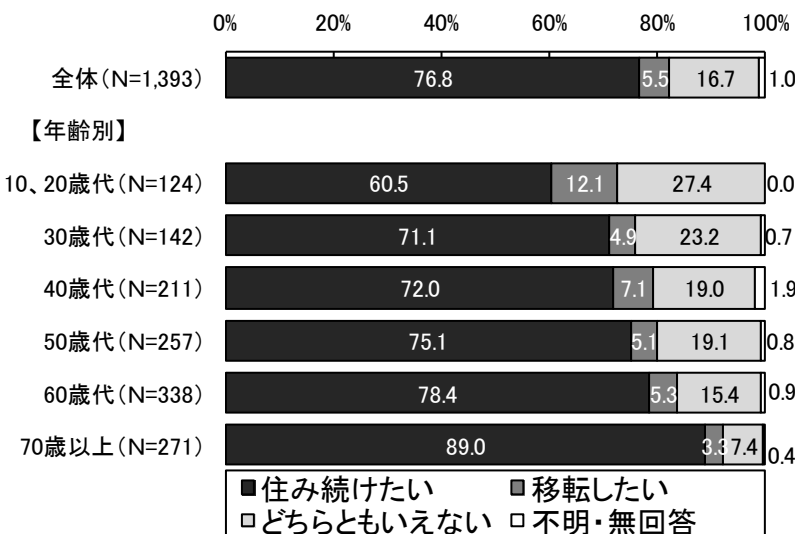
※『住み良い』は「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」の合算、
『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合算。

※『感じている』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合算、
『感じない』は「どちらかといえば感じない」「感じない」の合算。

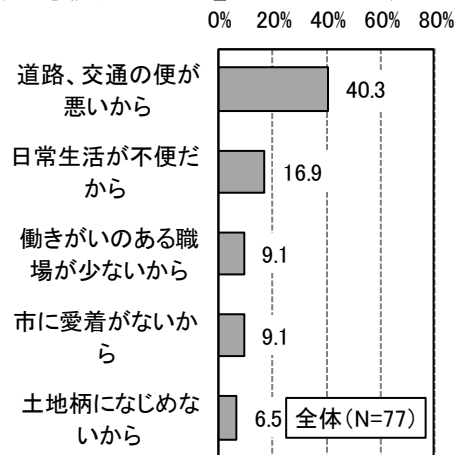
関市への居留意向については、全体の76.8%が「住み続けたい」としています。年齢別でみると、年齢があがるにしたがい、居留意向が高くなっています。また、『移転したい』と回答した人にその理由をたずねたところ、「道路、交通の便が悪いから」「日常生活が不便だから」とする割合が高くなっています。

●あなたは今後も関市に住み続けたいと思うか

●移転したいと感じる理由<上位3位>



(※『移転したい』を選んだ方)



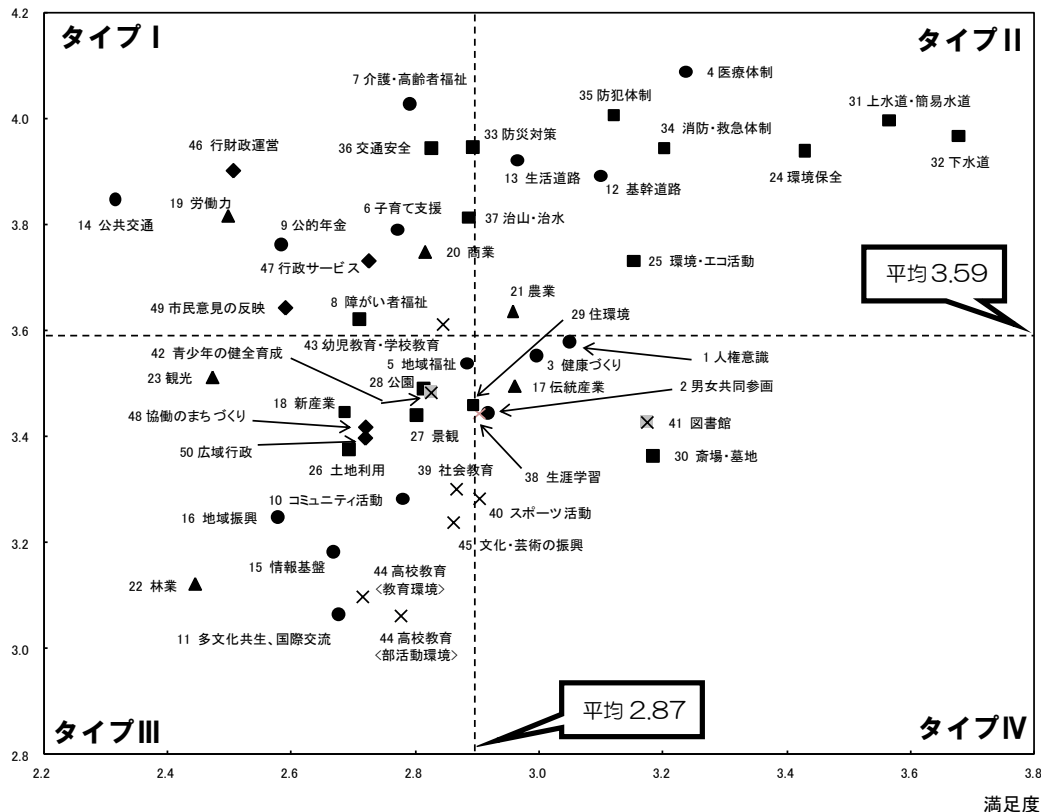
※『住み続けたい』は「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」の合算、
『移転したい』は「できれば移転したい」と「すぐにでも移転したい」の合算。

2 施策の満足度・重要度について

施策の満足度、重要度は次のようになっています。

●施策の満足度・重要度のポートフォリオ分析

重要度



タイプ I（重要度が高く、満足度が低い）に分類されている施策を経年でみると、3年間継続して、「子育て支援」「障がい者福祉」「公的年金」などの福祉関連の施策、「公共交通」、「労働力」「商業」などの産業振興に関する施策、「行財政運営」「行政サービス」などの市政運営に関する施策があがっています。

●「重要度が高く、満足度が低い」(タイプ I)に分類されている施策<経年比較>

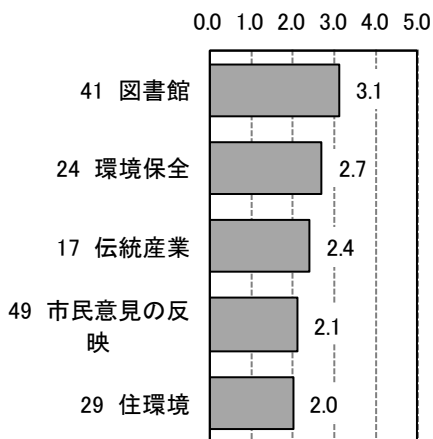
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
6 子育て支援	6 子育て支援	6 子育て支援
8 障がい者福祉	7 介護・高齢者福祉	7 介護・高齢者福祉
9 公的年金	8 障がい者福祉	8 障がい者福祉
14 公共交通	9 公的年金	9 公的年金
19 労働力	14 公共交通	14 公共交通
20 商業	19 労働力	19 労働力
	20 商業	20 商業
	36 交通安全	36 交通安全
	42 青少年の健全育成	43 幼児教育・学校教育
46 行財政運営	46 行財政運営	46 行財政運営
47 行政サービス	47 行政サービス	47 行政サービス
	49 市民意見の反映	49 市民意見の反映

3 施策の満足度の経年変化について

平成 23 年度調査と平成 27 年度調査を比較すると、『満足』では「41 図書館」が、『不満足』『普通・どちらともいえない』ではともに「30 斎場・墓地」が上昇しています。

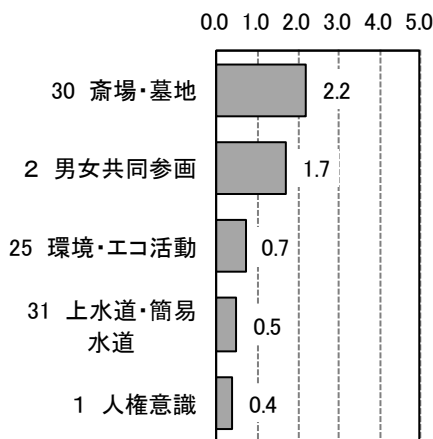
●『満足』上昇

<上位5位>



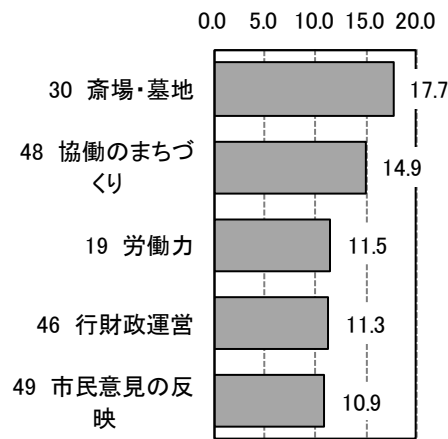
●『不満足』上昇

<上位5位>



●『普通・どちらともいえない』上昇

<上位5位>



※『満足』は「とても満足」と「まあ満足」の合算、『不満足』は「やや不満」と「とても不満」の合算。

『満足』が上昇し、『不満足』が低下したものを『満足度上昇』に分類すると、「19 労働力」で最も差が大きくなっており、満足度が上昇していることがわかります。『満足』が低下し、『不満足』が上昇したものを『満足度低下』に分類すると、『30 斎場・墓地』で最も差が大きくなっており、満足度が低下していることがわかります。

●満足度が上昇した施策<経年比較・上位3位>

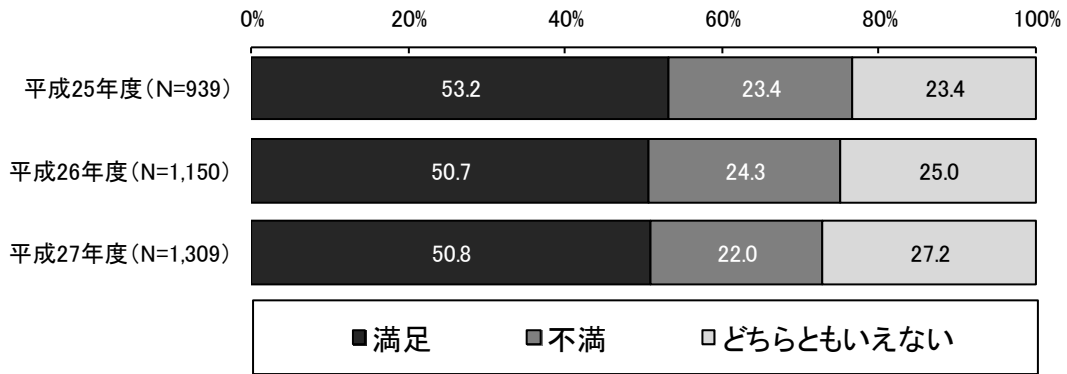
	満足度上昇			差の合計
	施策	不満	満足	
第1位	19 労働力	-13.0	1.3	14.3
第2位	49 市民意見の反映	-10.6	2.1	12.7
第3位	48 協働のまちづくり	-11.8	0.2	12.0

●満足度が低下した施策<経年比較・上位3位>

	満足度低下			差の合計
	施策	不満	満足	
第1位	30 斎場・墓地	2.2	-21.1	23.3
第2位	31 上水道・簡易水道	0.5	-7.7	8.2
第3位	2 男女共同参画	1.7	-6.2	7.9

まちづくりの全体評価を経年でみると、「満足」「不満」とともに低下し、「どちらともいえない」が上昇しています。

●まちづくり全体の総合評価<経年比較>

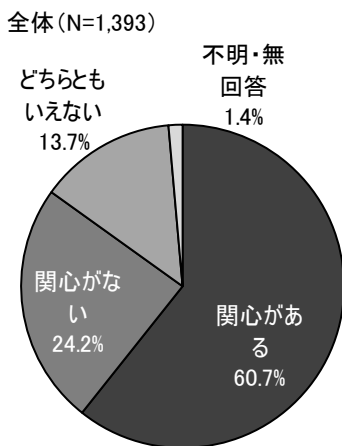


※『満足』は「とても満足」と「まあ満足」の合算、『不満』は「やや不満」と「とても不満」の合算。
 ※「不明・無回答」は除いて比較しています。

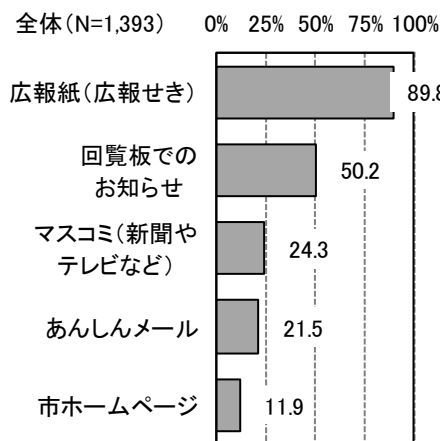
4 関市からの情報発信について

市政への関心は、「関心がある」が約6割を占めています。関市についての情報入手手段は、「広報紙（広報せき）」が最も高く、今後力を入れてほしい広報手段についても「広報紙（広報せき）」が最も高くなっています。今後力を入れてほしい広報手段については「市ホームページ」「関市くらしのガイドブック」にも2割弱回答がみられます。

●市政への関心



●関市についての情報入手手段 <上位5位>



●今後力を入れてほしい広報手段 <上位5位>

